

2020年1月10日

株式会社三菱UFJ銀行

ブロックチェーン技術を基盤とする貿易金融プラットフォーム
「komgo」を活用した信用状の発行について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ かおつぐ}三毛兼承、以下 当行）は、今般、本邦金融機関として初めて、KomGo SA（以下 KomGo 社）*が開発するブロックチェーン技術を基盤とした貿易金融プラットフォーム「komgo」を活用して、信用状（以下 本信用状）を発行いたしました。

KomGo 社は、主に貿易取引におけるペーパーレス化やプロセスの自動化を進めることで業務効率の向上を図るべく、2018年8月に当行および海外の大手金融機関、石油メジャー、コモディティ商社等の計15社の株主により設立されました。komgo のプラットフォームを通じて、信用状、スタンドバイ信用状、売掛債権の買取を含めた多岐に亘る貿易金融商品のデジタル化、本人確認（KYC）手続きの効率化、貿易金融に係る当事者が送受信する文書やデータの暗号化によるセキュリティ向上に取り組んでいます。

当行は、KomGo 社のアジアにおける唯一の株主として、他株主と共に komgo を活用したグローバルベースでのコモディティ取引における貿易金融のデジタル化を推進してまいりました。本信用状は、当行ロンドン支店にて、コモディティ商社である Mercuria Energy Trading SA の実取引に基づき発行されたものであり、当行における komgo を活用した第一号案件となります。

当行は、デジタルライゼーションを MUFG の中期経営計画における最重要施策の一つとして位置付け、デジタル技術を活用したお客さま対応の効率化と、社内プロセスの自動化による生産性の向上に取り組んでおります。今後も、komgo の活用を通じてデジタル化の取り組みを更に加速させるとともに、komgo のグローバル展開にも貢献してまいります。

*KomGo SA 社は法人格を有する一企業であり、MUFG Bank の他に ABN AMRO, BNP Paribas, Citi, Crédit Agricole Group, Gunvor, ING, Koch Supply & Trading, Macquarie, Mercuria, Natixis, Rabobank, Shell, Société Générale, SGS が株主となります。

以上